

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス ヒトツナ 放課後等デイサービス			
○保護者評価実施期間	2025年 2月 1日		～	2025年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	45	(回答者数)	31
○従業者評価実施期間	2025年 3月 10日		～	2025年 3月 12日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月13日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども達の活動に合わせた空間となっている。	毎日清掃・消毒を行い清潔感に配慮している。お子様の状況や活動の内容を踏まえて2つある教室を使い分け、安心して気持ちよく過ごせる空間づくりに努めている。	引き続きお子様が心地よく過ごせるような環境整備に取り組んでいく。
2	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が提供できている。	お子様の発達や特性、心理的な課題についてエビデンスに基づいて専門的・客観的な分析を行えるよう、社員教育の機会を十分に設けている。	引き続きお子様を理解するための学びを継続していく。セラピストとの連携も強化し、より充実した計画の策定を行う。
3	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されている。	また、支援計画を立てる際は児発管の独断だけではなく広く職員の意見を聞き、複数の視点からお子様の姿をとらえられるよう工夫している。	

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会。	・地区センター開催の教室への参加機会は定期的に設けているが、そうした地域に開かれた取り組みについて、ご利用者様への周知徹底が不足している。 ・時間や環境の課題からそれ以外のプログラムを積極的に計画を検討できていなかった。	・地区センター教室への参加機会、情報共有の機会を増やし、地域での交流を増やせるよう取り組みを行う。 ・まずは近隣の児童クラブ等との関係構築をさらに強化し、地域に開かれた事業所を目指していく。
2	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援の充実。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援の充実。	・機会設定はしていたものの、参加しやすい日程調整や託児環境の整備が不足しており、ご参加できる保護者様が限られてしまった。 ・きょうだい児支援に関して、ニーズの把握が十分にできていない。	・保護者会は次年度も実施する。環境整備の工夫を行い、参加しやすいさに配慮する。 ・きょうだい児支援に関するニーズ把握を行い、必要に応じて支援機会を検討していく。
3	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応すること。	・苦情受付け、解決責任者の体制は整備しており契約時にご説明を行っているが、実際に保護者様が相談しやすい機会設定やご満足いただける対応が十分にできていない。また、お子様にも相談先の明確化ができていない。	・相談の体制について改めて周知を行い、些細なことでもより丁寧に対応を行っていく。